
R P G戦争

IQ9

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

RPG戦争

【Nコード】

N1644P

【作者名】

IQ9

【あらすじ】

キラキラ光る太陽の熱がコーラが1番売れるとき！コーラを売ってビール売りに出世する、「コーラ買いませんかー、コーラいりませんかー」

RPGのように、そして作者と一緒にコーラ売りまくるぜ！！！！

コーラ売りの少年（18）

太陽がキンキンに眩しい、灼熱だ。そんな中俺は出世を賭けてコーラを売っている

コーラはぬるいものすごく不味い、嫌になるぜ……何やってんだ俺は、こんなに客が居て暑いのにコーラが1本も捌けないなんて、センスがないのかセンスが、神様俺にセンスをくれー

「ちょっと、その売り子の人」

「はい！コーラですか？」

「サイダー」

（自分で買ってこーい、ってかどう見てもコーラしか売ってないからね、コーラを必死で捌いてる人だからね。……なんでガン飛ばされてんの？ え？ 俺が悪い感じ？ 何度も言っけどコーラ売ってる人だからね！！！！）

「へへ、お客さんサイダーはちょっと……」

「オイ！ テメー、サイダーをクダサーイ」

（ん？ あれ？ 最後だけ敬語にナッテルー、あああじゃね、敬語になってんじゃないか（汗）腹立つなーコイツ馬鹿にしてるよな確実に、コーラしか売れない俺を馬鹿にしてるよな。同僚なんかもうビールまで売れるくらいに出世してるのに、なんて情けないんだ。そう俺の人生はコーラに始まってコーラに終わってしまうのか。）

いったいあの客はなんだったんだろう？ これはセンスの問題なのかと疑問に思いながら客を探している。

「あれ？ 先輩じゃないっすか！」

「お前！ペプジじゃないか！」

奴は皆からペプジと呼ばれるシュワシュワした奴、炭酸がないと生きていけない存在だ！

（コイツはついてるぞ！こいつなら俺のコーラを買ってくれる、これでビールの売り子に大出世だ！）

しかしコイツのせいで脳内RPG戦争が始まる……

「コーラ買っよな？」

「なんすか先輩、後輩に押し売りっすか？」

「いやいやそういうんじゃないさ、お前炭酸好きだろ？ 1本どっただ？」

「とか言っただけ売って出世狙ってんじゃないっすか？（笑）」

（コイツ昔は素直でいい奴だったよ、どうしちゃったんだよ、何があったんだよ！ ってかどんだけ体も心も黒くなってるんだよ、何で俺の考えてることがわかるんだよ、っーかどんだけー）

「先輩それ古いつす、日々人間成長するもんすよ、ちなみにこれは日サ口通いなんで」

（えっ??？　なんで俺の心の声で会話してんだよ、つーか成長というより墮落してるよお前は（涙）いや心の声が聞こえる時点で進化だよ）

「負けたよ……俺の負けだ、好きにしるよお前の好きにしてください」

（神！俺はここでコーラも捌けない一個の物体さ、しかも後輩に心を読まれる始末、さあーその太陽で俺を水蒸気にしてくれ）

「先輩先輩、じゃあ俺アイスコーヒー」

（何で心の声読まめーんだよ、恥ずかしいは！）

「買ってこいつてか？　先輩をパシリに使うのか？」

「オイ！　買って来いよ、お前コーラの炭酸抜かれないのか？」

（くそ！とんでもないこと言い出しやつがたコイツは、俺にとってのコーラとは、まさにラスボスへ出世を倒すべくして育てた勇者Ⅱコーラ、しかしこの太陽のせいで勇者へコーラのMPへ温度が下がってしまってる、そしてコイツは勇者へコーラの装備品、金の剣へ炭酸を奪うモンスターへペプジ、この場をどう乗り切る？　A、戦う　B、アイテムを使う　C、呪文　D、逃げる　E、アイスコーヒーを買ってくる　ってオイなんでRPG並みの選択肢しかないんだよ、なんで俺を頭は低スペックなんだよ、つーかどんだけー、しかしこの5択で乗り切らなければ、ラスボスへ出世な

んかパンチへ土下座」しかアタックできない)

「続きはCMのあとで！」

「小説だからCMなんてあるわけねーだろ作者！　しっかり書けよ！　この後俺はどうなるんだYO」

勇者へコーラを売っている最中、ばったり昔の後輩と会った、後輩を利用しようとした俺は、逆にピンチに陥ってしまった、これから短い戦いになるだろう、果たしてその先に待っている結末は……

(ん)普通に考えればここで問題を起こすより確実に1本売るのがいい、しかしこれこれ3時間1本もコーラを捌けていない、残りのラスボスへ出世へのHPは勇者30体分へコーラ30本、ここで売れなければ、時間という俺のHPがなくなってしまう、時間がなくなれば確実に教会送りへクビになり自宅でHPの回復を待つようになってしまう、こいつに売りつけ経験値を獲得し、ラスボスのHPを着実に削るしかない、もう一度振り返ろう、

A、戦う　B、アイテムを使う　C、呪文　D、逃げる　E、アイスコヒーを買ってくるって　この場合無茶をしてでも行かなければ、したがってDとEはない。

A、戦う　この場合の攻撃手段として、うまく言いくるめなければならぬ、これはかなり経験値を積まなければならない、だがコイツは炭酸好き、うまくいけばクリティカルヒットへ買わせる間違いなしの一撃必殺、がコイツに使う場合外す確立も高い、外したら相手の攻撃を一方的に受けるはめになる。

B、アイテムを使う　この場合のアイテムとは、アイテムとは、アイテムとは、何もなかった、いや待て、俺の残金は5Gへ50円

勇者へコーラ 1本15Gへ150円、俺の持ち合わせてる5Gへ50円、分引けば10Gへ100円、で捌けるこの割引というアイテムを使えば、次の俺の攻撃で奴は間違いなく落ちる！ がそんなことをしていいのか？ 俺……今まで一緒に戦ってきた勇者へコーラを傷物（割引）にして売るなんて俺には……出来ない……。

C、呪文 これの関しては全く不明、多分作者の思いつきであるう、しかしこの魔法の読み解かなければ、機嫌を損ねかねない、ラスボスへ出世を目の前にゲームへ小説を終わらせてしまう危険が高い、落ち着いて考えろ、呪文はダメージ系か非ダメージ系？ それとも補助系か回復系、多分ここでの呪文はダメージか非ダメージでモンスターへペプジを倒すことだへ買わせる、しかし太陽のせいでMPへ温度が残り少ない、MPへ温度を使い一発逆転の呪文を使うしかない、しかし呪文なんて、あれか！ クロザキとかクロンテに違いない！ 目が点も場合経験値がもらえないパターンがあるが、勇者30体へコーラ30本、一気に捌ける！ これだ！ Cの呪文だ！

「俺は決めたぜCの呪文だ！」

「急になんだよ、早くアイスコーヒー買って来いよ！」

（モンスターへペプジの心を読むは発動していない様子、キター——！！）

「呪文呪文呪文」

「ム力つくやつだそれ貸せ全部炭酸抜いてやる！」

モンスターへペプジに装備品へクーラーボックスが奪われた。

力が3下がった、防御力が15下がった。

（あれ？ 呪文が発動しない……作者お気に入りの呪文が発動しない、発動しないなら書くなよマジで！！！！）

モンスターへペプジは有無を言わず装備品へクーラーボックスを装着し使おうと蓋を開けたら爆発音的な音が鳴った。

「え？ なんだ？」

モンスターへペプジは遠くへ飛んでいった。蓋が顔面に直撃、前歯が折れた。

目の前に装備品が落ちていたへクーラーボックス

俺は装備品へクーラーボックスを拾った、折れた前歯へペプジのを拾った、2Gへ20円を拾った、経験値はもらえなかった。装備品を装着した、力が3上がった、防御力が15上がった。

「ちょwwwこれwwwクーラじゃねーかwwwつかどんだけー」

「説明しよう、MPへ温度を消費したことへ太陽の熱により、装備品へクーラーボックスの中に蒸気が溜まり、限界に達した所に装備品へクーラーボックスの蓋を開け溜まっていた蒸気が外に逃げようとして、あの爆発……じゃなくてクーラが起こった」

（ヤバイ、こんな呪文だなんてへ爆笑、勇者のMPへ温度がもう底を突き始めている。しかしいい物を手に入れた、折れた前歯だ、今奴はクローサ状態、霧に包まれている、この折れた前歯を使い、うまく言いくるめるコンボだ、つまりBへAのファイナルラッシュ

だ)

「大丈夫か？ ペプジ」

「何とか……」

(焦点があっていない、まだ奴は霧に包まれている)

「これ落ちててぞ、ほれ」

俺は折れた前歯を見せびらかした。

「そいつは俺の前歯」

「欲しいか？ 欲しいか？」

「返せ俺の前歯だぞ！」

「このダンジョンにそんなルールはない、腐ってる死体みたいな顔しやがって(爆笑)」

「ダンジョン？ 死体？ 何訳わかんないこと言ってるんだよ、早く返せよ！」

「前歯が欲しけりゃコーラ買えいいい」

「買います買います！ 買わせてください」

腐ってる死体は300G〜3000円〜払った、折れた前歯と勇者20体(コーラ20本)を腐ってる死体は受け取った。

俺は300Gへ3000円受け取った。経験値が210上がった、ちやらららん、作者はレベルが1上がった、目力が1上がった、疲労が280上がった、書きたくない欲望が50上がった。サボるを覚えた、Hくと召還を覚えたへ身内ネタ。

（おい！ ちょっと待てー作者ー！！！、何で俺の経験値根こそぎ奪ってテメーがレベルアップしてんだよ（怒）、しかも目力ってなんだよおい！ その後全部レベルアップ関係ない事ばかりじゃねーかよ！ 経験値返せバーロー）

「長いツツコミありがとう」

「ったくいつたい何なんだよ、まあコーラも捌けたしいいとするか、あとコーラ10本か、ぐっお腹が……痛い、しまった」

俺は昨日お好み焼きを食べすぎたせいで腹痛へ毒状態に見舞われた。

「ちょマジ、もうRPGはいいから早く教会に、ってまだRPG抜けてなかったのは俺じゃないか……」

しかしこの状態でコーラ10本はキツイ」

腸の中にうごめく黒い物体は外に出ようと必死、しかしそれを阻止する俺も必死、出来れば一刻も早くトイレで平和条約を結びたい、しかし出世の道は遠のく果たしてこの戦争はいつまで続くのだろうか。

コーラ売りの少年（18）（後書き）

クロザキ……相手にコーラを買わせる呪文

クロンテ……自分の命を犠牲にして一気にコーラを買わせる呪文

クローラ……とりあえず相手を吹っ飛ばす呪文

クローサ……あゝ呪文でゆーか気絶しそうな状態にさせる呪文みた
いな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1644p/>

RPG戦争

2011年10月8日04時41分発行